

## タウンミーティング記録 未来に向けて 今、ここから

日 時 令和7年2月1日(土) 午前10時～11時30分  
場 所 亀久保南会館（亀久保町会）  
参加者 18人



### 主な意見等

参加者 環境について、ごみの問題が原因で自治会を辞めたい方がいます。理由は以前にその方の自宅周辺にごみ集積場がありましたが、近辺にアパートや新築住宅が建築されて新たなごみ集積場が出来たので、今までのごみ集積場が使えなくなったため担当課に相談したところ、5戸以上いないと新たにごみ集積場を作るのは難しく、自治会に相談してほしいと言われたそうです。やむを得ずごみをご自身の会社に持ち込んで処分したり、大型ごみはリサイクルセンターに持ち込んで対応しているそうです。なお、その方の家の前には三芳町のごみ集積場がありますがそちらは行政が違うので使っていません。その方は担当課からまだ回答をいただけていない状況のため市に対して不信感を持っているので、この機会にお話をさせていただいて状況の改善に繋がっていただければと考えています。

市長 ゴミ収集については、旧大井地域の収集場所は地域で確保できている場合も多いですが、5戸以上の同意は新たに開発がされた場合のため、担当課がその点をどう認識していたかわからないです。旧上福岡地域の多くは住宅地内の路上に置いており場所を固定せずに廻している場合もあります。お困りの方から改めて話を聞いて担当課に報告してくれるとのことですが、ごみ収集はどんなかたちでも必ず継続しなければならないと考えているので、今回の件については担当課に改

善策を考えるように指示します。

参加者 防災について、去年防災訓練に参加した際に避難所のペットの扱いについて担当者に確認すると、校庭にテントを建ててそこでまとめて対応すると言われ、それでは困ると思いました。ペットは癒しであり家族でもあります。自宅に住める状況ならばそこで生活することが前提だと思いますが、この辺りの住宅は古い住宅が多く壊れてしまう場合もあると思えます。他の自治体ではペット同伴に対応できる避難所が整備されているところもあると思われるので、ペット同伴で避難できるように避難所を整備することを検討してもらいたいです。

市長 避難所のペットの居場所について、学校のグラウンドの一角に整備するようにしていきたいですが、初動時は担当職員も被災者となるので避難所に来られないケースもあり、当初は地域の方々に運営しなければならぬという状況もありますので、担当課も想定はしていますが具体的にすぐに確保することは難しい状況です。自宅で留まれるならばそこで過ごしてもらうのがまずは基本になります。ペットも家族の一員であることは認識していますので、可能な限り努力してまいりたいと思えます。

参加者 次に安全について、上水道タンク前の道路は時速 30 キロ規制で道幅が狭いですが、スピードを出す車が多く、特に交差点近くは道幅が狭く、ペットの散歩の際や普通に歩くのも怖く、自治会等を通じてスクールゾーンの設定を要望していますが、色々要件がありハードルが高く中々進まない状況です。この機会に少しでも改善に繋がればと考えてお話しさせていただきました。

市長 水道タンク前の道路は狭いため車の流入量は少ない状況ですが、スピードを出す車もあり、大型車が入ってくると所々ですれ違いが困難な箇所もあります。旧大井町と旧上福岡市エリアとも昭和 30 年代後半から 40 年代に掛けて急激に人口が増加したため、道路を整備する前に市街地化が進んでいるので、既存の農道がそのまま道路になっている場合が多くインフラ整備が追い付いていなかった状況があり、当時の都市計画道路も進んでいないです。該当道路は県道に出る交差点部分の道幅が狭くなっているため、地権者の協力が得られれば待避所の設置、道路の拡幅等、何か策を考えていきたいと思っています。

スクールゾーンはお話の通り、制度的に設定することは難しいです。警察がスクールゾーンを設定するには関係するすべての居住者の

同意を得る必要があり、通学時間には許可を得た車以外の通行は出来なくなります。一昨年に市内で設定した箇所もありますが、車の出入りを自由にしたいと反対する方もいたので何とか説得して設定しました。また、通学者が少なくなった等の理由で設定を解除することも全員の賛成が必要なので難しいですが、該当道路が危険なことは認識しています。

参加者 東日本大震災後、2012年から市で防災資材の備蓄を行ったと思いますが、それらを活用する機会があまり無いので、能登半島地震の際に10年以上使用していない簡易トイレを各町会から集めて市から被災地へ送ることを検討してもらいたいです。

市長 能登半島地震が発生した際は石川県からの要請で西日本中心に色々な県から被災地へ物資を送っており、現在は物資が充足している状況です。市で保管している簡易トイレ等はまだ使用可能ですが、今後災害が発生した際に、ローリングストックと言ひ、古くなった簡易トイレ等を送り、新しい物で補充して皆で助け合うという考えもあるので、有難い意見として今後の参考にさせていただきます。

参加者 トイレトレーラーの導入については検討していますか。

市長 令和7年度予算で導入を検討しています。トイレトレーラーは被災時以外でも各種イベント等でも使用できます。ご質問いただきありがとうございます。

参加者 桜ヶ丘三丁目の道路工事について、昨日は全面通行止めになっていましたが、小学校の先生は工事を行うことを知らなかったようです。先生が急遽、1・2年を引率して、子どもたちを例外的に通してくれました。学校にも工事の情報を共有してもらいたいです。

市長 普段は通学路で行う、道路、ガス管、上下水道工事の情報は学校には伝わる形を取っていますが、今回は情報が上手く行き届いていなかったと思われるので、今後はそのようなことがないようにしていきたいです。

参加者 町会の運営は合併後に構成員が年々減っているため厳しくなっており、月1回の役員会でも課題に追われています。大井総合支所があるのにも関わらず、例えば環境課の会議は19時から本庁で開催されていますが、総合支所に担当者が来て開催することはできないでしょうか。参加者は高齢化が進み車を所有していない方もいるため夜間の本庁への移動は大変なので、総合支所でも町会の会合等の会議の開催

を行ってもらいたいという意見がありました。町会構成員が減っており、色々と支障が出てきています。

合併前はすべて支所で手続きができると言われていただけに、合併後は本庁に行かなければ解決できないことが多く、不便を強いられています。

市長 自治組織は大半のところでは運営には苦慮されています。自治組織の会合、環境課クリーン会議は支所で行われる場合もありますが本庁で行われていることが多いので工夫の余地はあると思います。

また、役員を務めるのが嫌なため自治組織に入ることをためらう人もいます。本来、自治組織は行政とは別ですが行政としては自治組織連合会の方々と一緒に加入率を上げることを考えていかなければならないと考えています。他のタウンミーティング会場での話ですが、ある若い方の話として、以前は自治組織には加入する気がありませんでしたが、被災地支援へボランティア活動に行った際に、行政職員は他の作業で精一杯の状況で誰も来られない中、地域の方々が瓦礫を片づけたり高齢の方を助けたり等、皆で力を合わせている姿を見て、考えは変わり率先して自治組織に加入して、市からも皆で力を合わせていく自治組織の有効性を発信してほしいと言われました。

万が一、地震が起きた際は避難所に全ての人が避難する訳ではなく、地域の拠点に食糧等を配布されたり、被災した方々が持ち寄った食糧を食べたりする例がどこの被災地でも起きています。珠洲市長によると能登半島地震が起きたのは1月1日だったので、被災した方々はおせち料理を持ち寄って分けて助け合ったようです。珠洲市は食糧備蓄が少なかったため人口1万2千人分の食糧を石川県に要望したが、道路が寸断されているため珠洲市まで届けられない状況で隣の穴水市まで取りに行き、3日にやっと人数分のパンが届いたそうです。町会の運営は行政の大きな課題だと思いますので自治会連合会の方々とも意見を出し合って考えていきたいです。

また、支所では農政関係の手続き等の例外はありますが、ほとんどの手続きができるようになりました。合併の当初と比較すると改善できており、以前に支所利用者が本庁へ手続きするためにシャトルバスやタクシーチケット事業を行いました。利用者はほとんどいませんでした。今後も支所で手続きを行えるように努めていきます。

参加者 ガス代、ガソリン代、灯油代も上がっている状況の中、水道料金が

値上がりして、年金生活者には生活が苦しいです。

また、道路の傷みが目立ち、自転車で地域を廻るとでこぼこが多く非常に運転しにくいです。

市長 水道料金の値上げについて、以前のふじみ野市は県内でもかなり安い料金でしたが、令和7年に終える古い石綿管の入れ替えを進め、給水塔の整備等に費用がかかり、加入金等を使って何とかやり繰りしていましたが安い料金では限界となったため、なるべく上げる率を抑えて年末から料金を値上げする必要がありました。また、水道料金は値上げしても県内の他自治体と比較するとまだ低い水準です。

道路予算について、現在は民生費と衛生費の割合が予算の半分以上を占めており、以前と比較するとその比率は年々上がっているため、土木費に廻せる予算が少なくなってきています。先程合併特例債等を活用して色々な施設が出来たと話しましたが、既存の老朽化した施設を大規模改修する等で延命を行ってきました。大井中央公民館はステラ・ウェストに建て替わり、図書館や資料館は大規模改修により、できるだけお金をかけないで対応してきました。このことを今後5年から10年かけてやっていくならば、建設資材の高騰等により、5年前に行っていたことが、今では1.5倍から2倍位の費用がかかる状況です。近隣市でも公共施設の整備を行うことが難しくなっていますが、本市は特例債を上手く活用して施設の整備をすることが出来たことで素晴らしい効果を出せたと考えています。

八潮市の陥没事故の件もありますが、下水道管などに亀裂が入ると周りの土砂が流れ込んだりして、空洞化が起きたりします。市内でも企業誘致開発を行っている地域で荒川右岸下水道の管を誤って傷つけて土砂が入り込んだ事故が起きたことがありました。上下水道の老朽管の交換を進めていかなければなりません。水道予算以外に一般会計の予算からも捻出していかなければできない状況です。そうすると道路整備も含め、いろいろな事業を見直していかなければなりません。幸いなことに公共施設の老朽化対策は何とか進めることが出来ましたが、自治組織の会館もいつかは皆さんの税金を使って建替えをしなければなりません。今後は優先順位を付けて道路整備を進めていきます。

参加者 本庁に行くバスを使うことがありますが1～2人しか乗っていません。例えば本庁へ行く希望者が5人集まれば臨時でバスを設定する

ことはできませんか。

市長 ふじみん号は時刻表に基づいて定時・定路線で運行しておりますので。その都度使い方を変えるのは難しいですが、今後高齢化率が上がってくるなかで、公共施設間、例えば本庁舎、ステラ・イーストと支所、ステラ・ウェスト間をふじみん号とは別の交通手段で作れたらよいのではないかと、ということの頭の中では考えています。公共交通活性化協議会において、現状では遠回りして時間がかかる路線について検討したり、三芳町のライフバスとの接続時間を考慮したりする等、臨時バス設定のご意見も参考にしながら、少しでも改善できるような方策を検討していきたいと思えます。

参加者 本庁に行かなくても支所でほとんど出来るようになったと言われましたが、ゴミゼロ運動の資材は本庁に貰いに行かなければならず、備蓄の保存食を本庁まで取りに行くこともあり、支所で配布することや発送することも考えてもらいたいです。お話を聞いてかなり改善されていることはわかりますが、細かい点では改善されていない点があると思えます。環境委員は任期を迎えますが、高齢化が進んでおり、受け手がいません。高齢化に加えて、免許を返上している方は本庁へ行くのは難しいと言われます。本庁で行えることは支所でも行ってもらいたいです。

市長 総合支所でも手続きを行えるようにしてきたことは通常の市民の手続きに関する話ですが、備蓄品の受け取りなどは、一部の自治組織については支所で取り扱うなど、工夫すれば出来ると思えます。

町会の役員の方が本庁へ移動するのが大変で役員を務めるのが難しいというお話も伺いましたので、自治組織連合会の皆さんとも協力して改善できるように検討していきたいと思えます。